

ひらおか

年頭所感



平岡地区町内会連合会

会長 大山 正

新年おめでとうございます。皆様方にはご家族お揃いでよい年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

昨年は、金融界の破綻に起因した、経済不況が好転する兆しもなく、ただ虚しく時の流れを実感したところでございます。幸いにして、清田区は誕生初年度として、多彩な事業が行われ、今後の街づくりの土台が出来たものと感じております。

第一回清田ふれあい区民祭りは、住民参加型の手づくりの事業でしたが、多くの観客が会場をうめ、盛会裡に終わることが出来ました。反省点も多々ありますが、より良い祭りに育て上げて行きたいと思っております。その他多くの事業がございました。さて、当町連も会員のご理解により、計画された事業は順調に実施されております。ご協力ありがとうございます。

今年度は、新しい町内会が仲間入りをします。

平岡シユヴアーピング町内会と平岡三条団地自治会です。合計二十一町内会の構成となりますが、仲良く励まし合って理想の街づくりに努めましょう。

又、旧拓銀グランド跡地の開発については、数少ない緑地であり、地域住民としては、自然との共生を身近に実感できるこの緑地に、強い愛着と誇りを感じております。したがって、水辺を含めた樹林地の保全に、特段の配慮をするよう関係機関に要請をしているところでございます。

清田区として考えなければならぬ事は、交通アクセスだろうと思っております。全体としての街づくりには、五町内会連合会の中心とも言える、区役所辺りが核となって開発整備が進められる事が必要と思っております。従って

地下鉄の乗り入れ、バスターミナルの設置など今後の検討課題として取り上げられることを望みます。

福祉関係について触れてみましたが、高齢化の速度は急速であり、若い街などと言っておりましたが、10%の割合に近づいてまいりました。ふれ愛・梅の実・広場の活動も範囲を広めて、多くの人達との交流を深めて行きたいと考えております。

九月に行われました、清田区老人クラブ第一回演芸大会は、日頃の練習の成果を思う存分に発揮され、まだまだ若い者には負けん気の頑張り様、頼もしさを感じました。

以前にも申し上げましたが、路上迷惑駐車です。多くの人々が『雪の降ると困るんだよね』と口々に言っておりますが、注意することに何の拘束力もありません。しかし、地域として共同生活環境の中でお互いを尊重しながら、気持ち良く日々をおくりたいと思っておりますので、紙面を借りて迷惑駐車をしないようお願いします。

結びになります。皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。



きよたまちづくり 区民会議の報告

平岡地区町内会連合会

副会長 石川 敏郎

明けましておめでとうござい
ます。

昨年十一月四日に、札幌市の十番目の区として清田区が誕生してから、早いもので満一年が過ぎ、着々と基本的なまちづくりが進められています。

一方、だれもが自分達の住む清田区の将来に対し、種々の夢と希望をもっていることと思えます。

この夢を具体化し、実現していくための構想を行政に反映するため、地域の代表、学識経験者、P・T・A、地区企業の方など二十名で「きよたまちづくり区民会議」が発足しました。地域の代表として会議に参加している一人として、報告させていただきます。

今年の三月六日にスタートし、区内の視察、全体・部会別討論など、すでに八回の会合がもたれております。加えて、二回の区民のアンケートも実施し、区民の意向を反映しながら、構想づくりも大詰めを迎えています。十一月十四日には、区民の皆さんに経過を報告すると共に、将来のビジョンについて、建設的な意見の交換がされました。今後は、来春の答申に向けて

更に、討論が続けられる予定です。

清田区は緑が豊かで、自然環境に恵まれています。又、清田区は大変若々しいですし、未来への可能性を秘めています。自然に調和し、それぞれの地域の特性を生かしながら、安全・安心で住みよい清田区を、みんなで創ろうではありませんか。

梅の香橋



町連の活動

『ふれ愛梅の実広場』の活動

町連福祉厚生部長
ふれ愛梅の実広場運営副委員長

石田 義成

発足してから三年が経過しましたが、今年も計画にしたがい活動を続けています。

◎ボランティア研修会

七月二十五日特別養護老人ホーム秀寿園(清田区真栄三九五)を見学し、併設のデイサービスセンター並びに在宅介護支援センターの活動内容についても見聞し、施設利用と在宅介護の在り方等について参加者一同認識を深めることができました。

◎地域内での援助活動

ひとり暮らし高齢者の安否確認のほか、地区会館に集合していただいたの茶話会(保険婦による健康相談・昼食会・ゲーム大会等)の開催(八月六日)、清田区老連の演芸大会への招待(九月二十七日)などを実施し各々参加して下さった皆さんに大変喜んでいただきました。
このような活動の積み重ねによりお互いの交流の輪が広がります。援助者(福祉推進員)の連携も一層深まって行くものと期待しています。

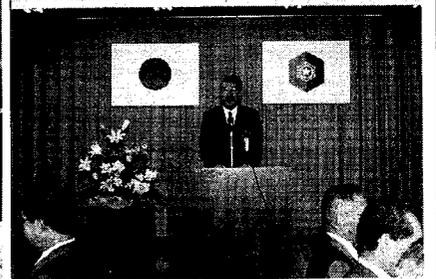


平岡地区 敬老会開催

九月十五日(敬老の日)平岡地区敬老会が催されました。今年喜寿、傘寿を迎える方及び米寿以上の方々をお招きし、当日は来賓の方を含め約一五〇名のご出席のもと開催されました。

特に今年は、桂市長さんもお祝いに見えられご招待の皆様を長寿を祝し、ますますのご多幸を祈念されました。

平成10年度平岡地区敬



総務庁主催青少年健全育成道外派遣研修中央フォーラムに参加して
平岡地区青少年育成委員会
会長 木下日出男

『現代の子どもの発達を考える』家庭教育の再構築をめざして親の役割、家庭教育の充実のための方策「人とかかわる力を育てるために」

今、いじめや不登校などの問題のすそ野に、子ども達の「人とかかわる力の衰弱」があることが指摘され、小規模化し、空洞化した現代の家族は、人とかかわる力を育てるには適切ではないと言われている。家族の外の人々と幼いころから接し、多くの友達や、多様な人々と付き合う機会を多くもつことが必要と言われている。

まず、父親と子どもが接触する時間を増やすこともそのひとつ、母親とは異なる影響、異なる経験を与えてくれる人の存在は、子どもの世界を確実に広げると言う。

また、協力し合う両親の姿を見て育つことは、人間関係の学習の土台となる。離れて暮らしている祖父母や伯父伯母、いとこなどのネットワークも活用することにより、心豊かな子どもに育ち、心身共に健全に育つと言う。

さらに、乳幼児期から、地域

のさまざまな人々との付き合い合うことができるような、親と子どものためのフリースペースや子育てサロンなどが地域に必要な(機会を見て行政に働きかけていきたいと思います)となる。

子どもの自尊感情を育てるために、社会は確実に変化の方向をたどっている、情報化、国際化の流れは日本の学校教育の改革をせまっていると言う。

ペーパーテストで測定される能力は、人間の能力のほんの一部を測っているのであって、変化の激しい時代には、多様な能力、多様な個性が必要とされる現在、子どもたちが自分が今、生きていることに充実を感じ、自分を大切にすることができるよう、体を動かし五感を使う体験を子どもにもっとさせることが必要。子どもの生活体験を豊かにするために、親達こそ、多様な世代、年齢、職業、多様な国籍、文化を持つ人々と接し、さまざまな体験をすることにより、大人と子どもが共に多様な人々との付き合い、学び、人間性を豊かにする活動を、展開することが可能となる。

平成十年十一月十三日

京都にて

以上、今回の研修で提言された内容の一端をご紹介しますが、今后これら研修で学んだことを地域社会に広めて青少年健全育成に少しでも役にたつよう努力していきたいと思います。

第八回「平岡ハーティ・マインド推進運動」

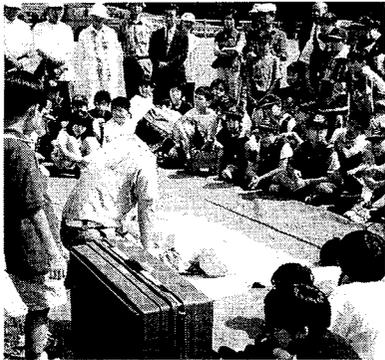
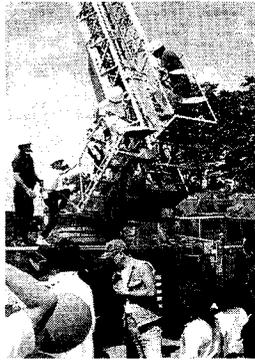
平岡地区青少年育成委員会
副会長 若松 直典

平岡地区では、平成五年度より、「家庭・学校・地域」の三者が一体となって、青少年の健全育成を進めるため、温かい思いやりのある心を持った青少年を育む運動「平岡ハーティ・マインド推進運動」を毎年テーマを変えながら展開しております。

第六回目となる今年度は昨年の9月6日(日) 清田消防署の全面的協力を得て、平岡公園第二駐車場で開催いたしました。テーマは「防災フェスティバル&ゲーム大会」とし、平岡少年消防クラブの紹介、参加した子供達による消火器を使用しての消火活動、消防署員の応急処置の実技指導に続きダミー人形を使っての人工呼吸法のしかたを学びました。説明をきいたあと、参加された方々に実際に体験してもらいましたが、見ているのと、実際にするのは大違いでコツをのみこむまでが大変でした。

次に民生委員、町連の役員他の皆様によるジェスチャーゲームがあり、迷演技続出でした。「その中でも消防署員と小中学校の先生方の名演技では感心することしきりで大いに楽しむことができました。」昼食にはおにぎりや豚汁のサービスがあり、そのあと待望の梯子車への試乗

がありました。30Mの高さへ昇るのでヘルメットと安全ベルトを着用して二人ずつ乗りました。何回も乗りましたが子供がいる反面青ざめる子もいましたが、子供ばかりではなく大人も高い所が好きなようでした。この行事を通して、火事の恐怖と応急処置の重要さが認識されたことと思います。



女性部の活動について

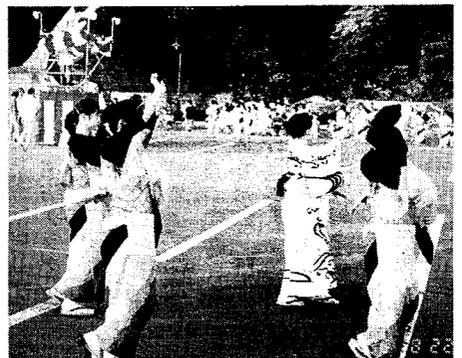
副部長 木下 玲子

明けましておめでとうござい

ます。
清田連合会から分離して、平成五年四月、平岡町内会連合会一つの街になろうとしています。月日に流されて五年七カ月、そうしてさらに、豊平区の大きな輪の中から、平成九年十一月四日、清田区みどりの街として、誕生致しました。新しい区として、女性部も地域の暖かいご協力を頂き、活動を進めています。活動の一部を紹介させて頂きます。四月中旬の平岡の総会に始まり、行事予定の話し合いののこびになりました。



五月 清田区女性部総会
六月 清田区内視察見学研修会
七月 札幌市女性大会
フリーマーケット参加



八月 さつばろ国際フェスティバル

清田ふれあい区民祭り

十月 清田区女性部一泊研修会

教養講座(電気教室)

十一月 一円玉募金集計

料理実習

部長会議 役員会 町内会行事参加、交通安全街頭啓発 独居老人の方に、愛の一声運動を、はがきの案内で、交通安全の呼びかけを、させて頂いていただきます。交通安全につきましては新一年生にマスケット作製も予定しています。小さな心が大きな輪になるよう願っています。その後は皆さんと話し合い、地域の方々と会を進めて行きたいと思っております。残りの数ヶ月間、行事変更もあるかと思いますが、皆様のご意見ご希望にお答え出来る様進めたいと思います。女性部皆さんの暖かいご協力と、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

21世紀へ豊かさを深める—とうきゅうグループ



札幌 東急ストア

平岡店

営業時間あさ 10:00~よる10:00
土・日曜はあさ 9:00~よる10:00

札幌市清田区平岡7条2丁目2-1

TEL 881-4109

P450台

体育部

副部長 古谷 俊晃

99明けましておめでとうございませう。日頃体育事業に御協力を頂き御礼申し上げます。

さて、体育部年間事業は、ゲートボール・パークゴルフ・男女混合ソフトボール・壮年野球・歩く運動そして10年度からの新規事業として、ミニバレー。女性ソフトボールは、ついにチーム・メンバー不足の為無念の中止。替ってミニバレー。以上の事業を体育部は6ヶ月まで、企画・運営・実施。

基本は体を育む。心地好い汗をかいての交流は何とも言えず。ともかくにも老若男女一つの目的で集い、体を動かし一日過す。

閑話休題。10月10日「歩く運動」。130名以上の参加は、体育部年間事業中最大参加者。夫婦・家族・友人・仲間・愛犬連れと、それぞれ和気あいあい。歩く・ペー・スもそれぞれ。会話もそれぞれ。平岡公園の自然に触れ合い、近頃接する機会がめっきり減った土と落葉を踏みしめ前進。2時間ちよつとの旅？散歩？運動？も終り平岡連絡所到着。おしい豚汁が配られ、それぞれが自由に昼食。フィナーレは抽選会。各人が「歩く運動」という目的で歩き、会話し、食べそして別れる。「又、来年も会いましょう」と笑顔。

この10月10日は終わった後の小

さな充実感、ふくらはぎの軽い重さ、食事のおいしさ等が混在する何となく素敵な一日。今年の10月10日も... (交通安全部・女性部・総務部の皆様、毎年の御協力に対し深謝致します)



体育部行事の結果

○男女混合ソフトボール大会 (八月三十日清田公園グラウンドにて開催)

- 参加チーム 七チーム
- 優勝 小学校前町内会
- 準優勝 第五町内会
- ふれあいゲートボール大会 (九月十三日平岡中央公園グラウンドにて開催)
- 五チームにて競技
- 優勝 北川チーム
- 準優勝 細川チーム
- 秋季パークゴルフ大会 (九月二十日厚別川パークゴルフ場にて開催)
- 参加者 八十名
- 優勝 真坂楨子(コープタウン)
- 準優勝 野沢昌吾(コープタウン)
- 竹次吉明(北)
- 田村秀次(公園)
- 村木好男(公園)
- 〇歩く運動 (十月十日開催)
- 参加者 百三十名

交通安全は家庭から

交通安全対策部 中野 敏行

コース 平岡地区会館ー厚別運動競技場ー平岡公園ー平岡地区会館 (約十キロメートル)

交通安全対策部 中野 敏行

交通事故が多発しております。25歳以下と65歳以上の事故率が多くなっております。歩道に車両の駐車はやめましょう。(駐停車違反)

自転車の夜間走行時には、ライトを点灯しましょう。

お年寄りには、夜間は夜行物をつけて遠くからよく見えるようにしましょう。

平岡少年消防クラブの活動

指導員 彦素 幸夫

平岡少年消防クラブの設立については第十一号に掲載いたしました。今回は、具体的な活動を報告します。

七月五日(日)

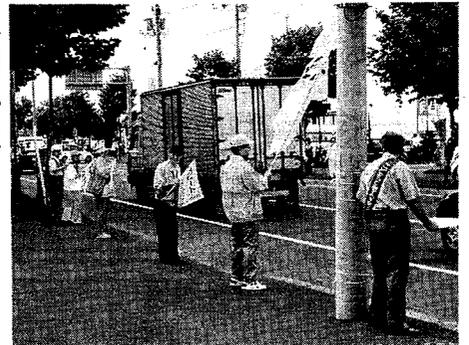
夏休みに入る前に子供達が水難に遭わないように、また、遭ったとき、どのように対処するかを、清田少年消防クラブと合同で、クラブ員は着衣水泳・父母については、心肺蘇生法を、JSS清田スイミングスクールの協力のもと、クラブ員の水泳能力に応じて行った。

参加者総数 四十三名

八月十二日(水)

九月十九日(土)

平成十一年春実施予定の、防火人形劇に使用する人形作りを札幌市子ども劇場「やまびこ座」の加藤館長の指導で作成した。



シーズン到来

地下鉄大谷地駅から

白いゲレンデへはスキーバスが一番!!

片道1,200円

札幌国際スキー場へ

A 7:40 B 8:20

片道1,330円

キロロスキーリゾートへ

C 8:00 D 8:40

☆ 運行期間 ☆

- A 12/5~4/4 B 12/19~1/17(1/23~4/4の土日祝も運行)
- C D 12/14~1/14, 3/1~4/4(12/5~2/28の土日祝も運行)
- D はJRバスが運行 ※上記路線は新札幌発着となります

☆ お得なスキーバック券 ☆

- 国際スキー場 ●メルヘン日帰りバック● 大人4,980円 小人3,200円(バス往復料金+リフト・ Gondola 1日券)
- キロロリゾート ●オンシーズンコース● 大人6,000円 学生5,100円 小人3,900円 (バス往復料金+リフト・Gondola 1日券)

札幌都心・地下鉄福住駅・地下鉄麻生駅からも好評運行中!



札幌バスターミナル ☎(011)231-0500

ご期待ください。

八月二十二日(土)

広域避難場所でもある厚別神社境内の清田会館にて防火・防災宿泊研修の実施

消火訓練、煙道通過訓練のあと、花火の取り扱い、防災ビデオの上映そして、非常食の試食を含めた夕食会を実施した。被災地の大変さの一部を体験を通じて学んだ。

参加者総数 三十三名

九月六日(日)

第六回

平岡ハーティマインド推進運動
防火フェスティバルに参加

参加者総数 三十二名

十月二十五日(日)

老人ホーム防火訪問

(清田クラブと合同)

真栄の特別養護老人ホーム「秀樹園」に「防火おもちやかぼちゃ」を贈呈する。

そのあと、お年寄りと防火活動のこと、家族のことなど歓談しコミュニケーションを深める。

また、建物の防火・防災などの施設を見学し、ハンディキャップのあるお年寄りと防火・防災についてのありかたを学んだ。

参加者総数 二十九名
活動を通じ子供達の防火・防災の意識が確実に高まっていくのを感じるこの頃です。

毎回実施のたびに、清田消防署をはじめ指導員及び地域の皆様にご協力を頂いていることに心より感謝いたします。これからも宜しく願います。



あなたの善意が 赤十字活動を支えます

○日本赤十字社は、世界中で起きている自然災害や紛争による被災者への支援はもとより、国内の各種災害への救護活動及び高齢化に伴う医療・保険・福祉のネットワークづくり活動を行っています。

○これらの活動は、社員の皆さんから拠出される社費や寄附金と大勢の奉仕者の善意によって支えられています。

○このため、日本赤十字社では、社員となる方の加入申込みを付けておきます。社員には、個人・法人を問わず、赤十字の趣旨を理解し支持される方であれば、いつでも加入いただけます。社員の方からは、年額五百円以上の社費を納めていただいております。

詳しくは、日赤札幌市地区本部(211-3399)、区役所地域振興課(889-2400)又は平岡連絡所(883-1710)へお問い合わせください。
日本赤十字社北海道支部



毎週 金曜 割引

トコヤ・サロン KOIZUMI

(小泉)

営業時間 AM 9:00~PM 7:00
定休日 毎週火曜日

清田区平岡8条1丁目1の53 ☎883-7522

注文(鮮) 折詰・弁当・オードブル 承り

- 食料品・青果・鮮魚・精肉・惣菜・酒・タバコ・雑貨

◆営業時間/朝10時より夜10時まで

安心と信頼の店 毎週 木曜日は夕市です。

株式会社 東部商事

札幌市清田区清田1条2丁目(清田小学校前)

☎ 881-4576



今日も明日もこの街で
ちゅうしん
札幌中央信用組合

平岡支店 平岡7条1丁目 ☎(885)0871



東急アルテ

平岡店

営業時間あさ 10:00~よる10:00
土・日曜はあさ 9:00~よる10:00

ひらおか東急2F
札幌市清田区平岡7条2丁目2-1
TEL (011) 882-8109

P450台

単町の活動

平岡公園町内会

総務部長 笹岡 浩二

平岡公園町内会は、世帯数八六一と大変大きな町内会です。縁あり四月より総務部長という重責を負う事となりました。まったく町内会活動に無関心であった私のはたして出来るのだろうか…と不安の半年が過ぎ今は諸先輩の皆様が築いたことを無にしてしまっているのではないかと軽く受けてしまったことを後悔して居る次第です。

さて私のグチはこのぐらいにしまして。私達の町内会は、春はハイキング、夏は盆踊り、秋に文化祭とさかんに活動しております。諸先輩の皆様がこの地に住んで良かった、子供たちに故郷として永く心に残る街とさせてあげたいと活動を広げてきました。町内会が出来た頃は林がありキツネが庭先まで出没していました。住宅もふえ大型スパー等が立ち街並が巨大化するにつれていわゆる放置自転車問題など一町内会のみでは解決出来ない問題も出てきております。

防犯・防災等も含め役員だからでわなくこの地の住民として今後より住みよい街を作るために活動してゆきたいと思えます。

パークシティ平岡町内会

副会長 船木 忠由

あけましておめでとございませぬ。

パークシティ平岡町内会が発足して早いもので、11年を迎え、平成11年に合わせた訳ではございませんが、町連広報紙『ひらおか』第12号も、平成11年1月1日の発行とずらりと、1が並び今年は何か良い年になるような気がいたします。

町内会とは、もともと向こう三軒両隣りが、はじまりで、戦後の食糧難の際には、自分や家族をまもるための自衛の組織であり当時としては無くてはならぬ存在だったと、言われ、風土・習慣も違う住民同士が、その絆を深めたのが、現在の町内会のはじまりだと言われています。

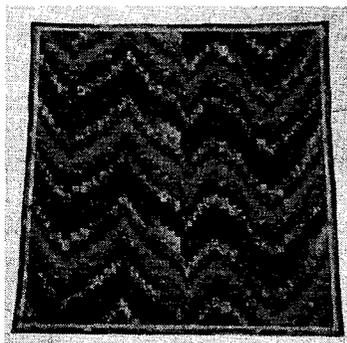
パークシティ平岡町内会の発足当時、なにか子供たちのための行事として始めたのが、ラジオ体操で私の息子がリーダーになり数人で体操を行っている写真を見て懐かしく、その当時の役員の方々の苦労が思い出されます。

当町内会も歴代の会長はじめ、役員及び班長の方々のご尽力のおかげで、立派なパークシティ平岡町内会に成長し、年々行事も多様化し、会員の方の活動も

活発になり、年間行事は、4月の町内会定期総会にはじまり、町内清掃、三里川清掃、女性部親睦会、子供たちの夏休み中の行事、敬老のお祝い、親睦ボウリング大会、最後に町内全域排雪で終わりますが、なかでも、子供会主催の花火大会は例年より種類も多く盛大に行われ、見物客の人々を楽しませ、感激を与えてくれました。

夏休み最後の行事である盆踊り大会には、いろいろな夜店も出で最高の人出でにぎわい、子供たちが叩く太鼓の音に昔ながらの光景に、子供の頃を思い出された方もいたようです。

今後、町内会の規模と活動内容について、親睦行事・町内活動への参加・高齢化社会における福祉・ボランティア活動の問題など、さまざまな課題もありますが、パークシティ平岡町内会は、全員参加の町内活動を目標に、今後の課題に取り組んで行きたいと思えます。



平岡地区会館にパッチワーク寄贈される

昨年の七月二十二日に、梅ヶ丘町内会の佐藤 正さんより、平岡地区会館に奥さんの久美子さん製作によるパッチワーク(タテ・ヨコ・ハマトル)が寄贈されました。作品名は「爛漫(らんまん)」で、彩りが美しく鮮やかな様という意味だそうです。ホール入口の壁に、早速展示させていただきますましたので、お立ち寄りの際は、是非ご鑑賞下さい。

平 岡
メディカルセンター
清田区平岡6条2丁目

とよ ぶく 豊福寿ひ
毎月14・29日
全品 2割引 12月・1月除く
出前・予約は
☎ 882-1276
清田区平岡9条1丁目8-15ニュータウンビル内
(北野ラッキー向い)

もり歯科クリニック
院長 森 晋一
☎ (011) 886-4182

つつい皮膚科クリニック
院長 筒井 真人
☎ (011) 885-6677

平岡整形外科クリニック
院長 宮武 泰正
☎ (011) 886-3666

藤村耳鼻咽喉科クリニック
院長 藤村 裕
☎ (011) 886-8733

みずきこどもクリニック
院長 玉越 美津紀
☎ (011) 886-9777

・メディファア・
アレス調剤薬局
☎ (011) 886-3330

夏休み子供ラヂオ体操

平岡北町内会
青少年育成部長 小林 光俊

木の葉が鮮やかさを増し、ひらひらと白い大地に乱舞し赤、黄の花模様を造形していく情景をみていると、夏の子供ラヂオ体操が思い出された。季節のページを二、三枚戻してみよう、このラヂオ体操の企画担当は町内青少年育成部である。子供達に規則正しい生活の中で長い夏休みを有意義に過ごしてもらおうと、六年生のリーダー、町内会の班長・役員の方々の御協力を得て、夏休み子供ラヂオ体操を企画実施することになった。

先づリーダーの選出にあたり町内の教育熱心なお母さんをお願いして、子供達の模範となる六人を選出して頂いた(男子三人、女子三人)、七月中旬打合せ会をしたがみんなお兄さんお姉さんらしく明るく元気で前向きな姿勢からうかがわれた。「ああよかった」とお母さんに感謝する。リーダーの役目はラヂオ体操を自主的な行動により運営することを基本とし、リーダーを中心に子供達の前で元氣よく体操をして模範を示すこと、体操終了後子供達の体操カードにスタンプを押すこと、ラヂオの管理等である。又町内会役員・班長さんをお願いして、会場への行き帰りの子供達を交通事故から守るため、毎朝主要道路上で黄色の小旗を持つての

交通監視を実施して頂いた。事故0であった長期間の交通監視の御苦労に対し感謝申し上げた。七月二十五日子供ラヂオ体操の初日 リーダーさん、班長さん、役員さんスタンプは勢揃いした、主役の子供達はとみると六時二十五分頃には会場の三角公園一ぱいに参加した。ラヂオのボリウムをあげる「皆さんおはようございます。お元氣ですかラヂオ体操の歌から始めましょう」

「リズムカルな音楽が流れるなか心地良い印象を脳裡に残し体操が始まった、リーダーはやや緊張気味の面持ちだった、みんな伸び伸びと体を動かしている、副部長が数取り機を握りながら子供七九、大人二五、計一〇四人、とはずんだ声で話かけてきた、私達担当者として晴々しい気持ちになった。

二週間経った頃異変がおこりはじめた、リーダーが前方に立ち一定の距離をおいて芝生になつてはいるが、そこを一線として子供達は対面して体操をするのである。小学生低学年の二団がその一線を少しづつ超えはじめたのである。その兆があつてから「彼等」の行動は徐々に大胆かつ競い合いになつていく、より早くリーダーのもとに駆け寄りスタンプを押してもらおうという魂胆である。危険性が考えられたから放つてはおけないと思つた。

副部長が三度程線から出ないよう注意したが二三日で乱れ

ていく。

「深呼吸：六、七、の音がまだ終っていないのに線からはみ出して先頭の子が駆け出した」「あつ」それは瞬時のことであらうからでは止めようもない、リーダーの男の子は素早くあとづさりしてその集団からのがれ出しことなきを得た。「君達体操をしに来たのかそれともスタンプを押してもらいに来たのかどっちなのだ」急に走りだして危ないじゃないかルールを守りなさい「ついで一喝してしまつた」

翌朝子供達はもとのいい子に戻り例の一線を越えることはなかった、副部長の注意があつた「みんなね先を争つて走り出すとつまづいて転び怪我をするのだよわかつた、前にも言つたでしよこの線をこえないように」と言われたことは必ず守ることいいわかつた」柔らかに包みこむように論じていた。硬軟交えての注意が子供達に程よく浸透したものと思われた地域にちよつぱり足を入れ集団でのルールを身につけたのではないだろうか、地域では子供盆踊り大会、こども登山会、ハーティ・マインド推進運動、等等を通じて語り合ひしゃべり合つてふれあひの輪を広げ思いやりのある心を持つた子供を育みたい、それが大人に課せられたつとめではないだろうか、近くの庭先の源平カヅラの緋紅色の花が風にゆれていた。



◆◆宴会予約承ります。(20名様まで可)◆◆
日曜定休日 営業時間 PM6:00~AM12:00
◆平岡6条2丁目 平岡東急前
◆884-7321
◆882-8125 (予約受付)

出前迅速

寿司・そば処

日本橋

札幌市清田区平岡9条1丁目シティヒルズ1F
☎ (011) 882-0415

内科・胃腸科・放射線科・検診ドック

ひらおか内科胃腸科

〒004-0876
札幌市清田区平岡6条3丁目10-1
☎ (011) 885-2110

『皆様との出会いを大切にします』

〈取扱車種〉 普通・大型特殊・自動二輪

大型自動二輪車教習開始

北海道公安委員会指定 (技能試験免除)

美しが丘自動車学校

札幌市清田区平岡1条4丁目1-1 ☎ 884-8786番



キャンペーン期間だけの特別金利
最優遇金利 **2.575%**

JAさっぽろ

清田支店 月寒支店 北野支店
☎ 881-2855 ☎ 851-0131 ☎ 881-3238

平岡シユヴァーピング町内会
会長 大久保武巳

「ヨーロッパクラシックの街」をテーマとして今も開発中の五条一丁目から二丁目の高台に在るのが私も居住する平岡シユヴァーピング町内会です。この名前は開発会社がドイツ・ミュンヘンの北の街、シユヴァーピングをイメージし「人と都市と自然の共生」を謳い、完成時には超高層二棟を含めて二千五百戸の街ができる計画となっていて、町内会名もこれに倣っています。現在の町内会は平成八年と九年に完成した五棟の集合住宅に入居した三百二十戸で構成されています。丁度、高台にあることから眺望も良く、公園、自然林に接していることから快適な住環境です。

行事と懇親会

平岡しんたく自治会
会長 武田 昭夫

幸いにも八月にシユヴァーピングバスの運行と併せ丸紅(株)との共催で行った夏祭りの盛況を励みとしたいものです。この街はまだ開発中です。私どもの町内会もまだ始まったばかりの発展途上です。地道に焦らず住民の意識の向上を計りたいと思っています。単町として連合町内会へは、二十番目の加入となりますが、先達の町内会の指導を受けながら頑張りたいと思っています。

平岡地区町内会連合会では、色々な行事が行われております。その中でも特にゲートボール・パークゴルフが多く参加者で、楽しい1日を過ごされている様にお聞きしております。今回は、当自治会の行事を紹介してみたいと思います。

自治会独自で開催される行事に、夏祭り・運動会・子供会のキャンプ・七夕祭り・さくらんぼ狩り・冬の運動会・アイスキャンドル造り等があります。特に、夏祭りは一人でも多くの会員皆様に、参加して頂けます様、努力しております。この夏祭り、2日間実施し、櫓を中心に子供・大人の盆踊りの輪ができます。出店コーナーには、焼き鳥・おでん・焼きそば・フランクフルト・ビール・等が販売され、子供にはヨーヨー釣り(無料)コーナーができます。しかし、

5、6年前より年々、踊る人が少なくなってきたのも事実、輪にならない年も有りました。そこで考えられたのが、餅まきをしてみたらどうだろうか?との案。即、実行!この年の参加者増加は、役員そして会員の大きな喜びとなり、やれば出来る!との思いを、強く感じる年となりました。3年前より祭りのイベントとして、和太鼓の会、10年度は、YOSAKOIソーランの清田フレンズさんに参加ご協力を頂き、楽しい夏祭りであったと、確信しております。夏祭りを例に上げましたが、何事も終わる迄が大変。役員会で検討し、当日の役割分担等決める訳ですが、

その後の懇親会が最も良い案、意見の出る時間となる様に思われます。初めて役員を経験される方もあり、懇親会を兼ねた意見交換の場となり、緊張も取れ餅まきはどうだろうか?等などの意見も出てくる。上記に書いた七夕祭りも、この懇親会で出た案だった。短冊の造り方も勉強し、柳の確保等、短期間の間に出来た喜びは忘れられない思い出となり、毎年、ろくそくだいせ・だくせよ の子供の声を聞くたび、やって良かったな!

役員を経験し、多くの会員を知り、顔を合わせた時挨拶だけでなく、来年はこうしたらもっといいんでないかい?と言葉を交わす様に変わった。しんたくの和(輪)がもう少し大きく、充実した 和 になる迄この懇親会を続けたいと感じているのは、私だけだろうか?

挨拶から地域活動へ

平岡第五町内会 香川 英樹

近年、地域の活性化が叫ばれているところですが、その源として期待されるのは、単町住民の町内会活動への参画ではないでしょうか。

単町の構成は、老人から新生児まで、若男女様々な職業を持った一人一人が支え合うと書く「人」によって構成されています。この構成員を結ぶ簡単で大切な糸は、日常生活の「挨拶」で、家庭生活から始まる共同生活・社会生活に必要な人間としての基本的心得でもあると思います。

「おはようございます。」「今日は、今日は寒いですネ。」の掛声をゴミステーションで、道端で、交わされたらいいものです。私達の遠い祖先から伝わって来たこの挨拶は、いわば、お互いの毎日の潤滑油とでも言う尊い働きをなすものであり有効に活用して、「隣は何をする人ぞ」から脱却し、「毎度お世話になっております。」「昨日はお見えになりました。」「昨日は壮健で...」と序々に簡単な挨拶からゴミステーションへの入口から広がりへ順々に移していくことができるでしょう。

このコミュニケーションの広がりが単町の話、課題、対応を創る源となつて、スムーズに町内活動への参画がしやすい環境を創り上げ、大きく地域環境を支える基礎となり、活性化の源となることはまちがいありません。

せん。どうでしょう。新たな年から「おはようございます。」との挨拶を心掛けませんか。この平岡を愛し、末長く生活する地として繁栄・活性化への一助に皆さんの協力が必要なのです。

表彰受賞者の紹介

木下日出男さん (平岡五条一丁目) 平岡地区青少年育成委員会会長 平岡町内会会長 永年にわたる青少年健全育成の推進に対する功績に対し北海道社会貢献賞を北海道知事より受賞

明けましておめでとございます。 「ひらおか」 十二号をお届けいたします。 発展を続ける地域は新しい単町が二つ増えて二十一町内会の集合体となります。それだけに地域に密着した町連の活動も各単町の皆さんのご理解ご協力が無ければなりません。各部長からの報告のとおり極めて順調に進められており皆さんのお力添のおかげと感謝しております。今回も多くの協賛広告をいただきお礼申し上げます。 かけがえのない なき輪の中の 三ヶ日 (山下)

編集後記